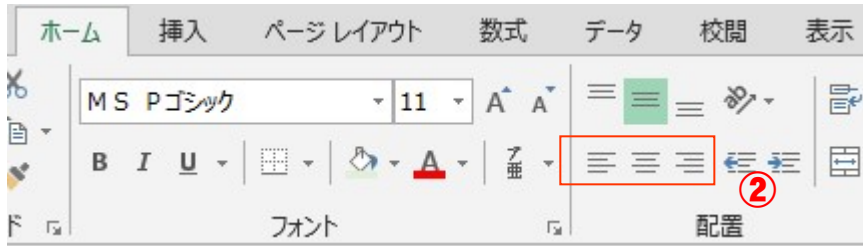
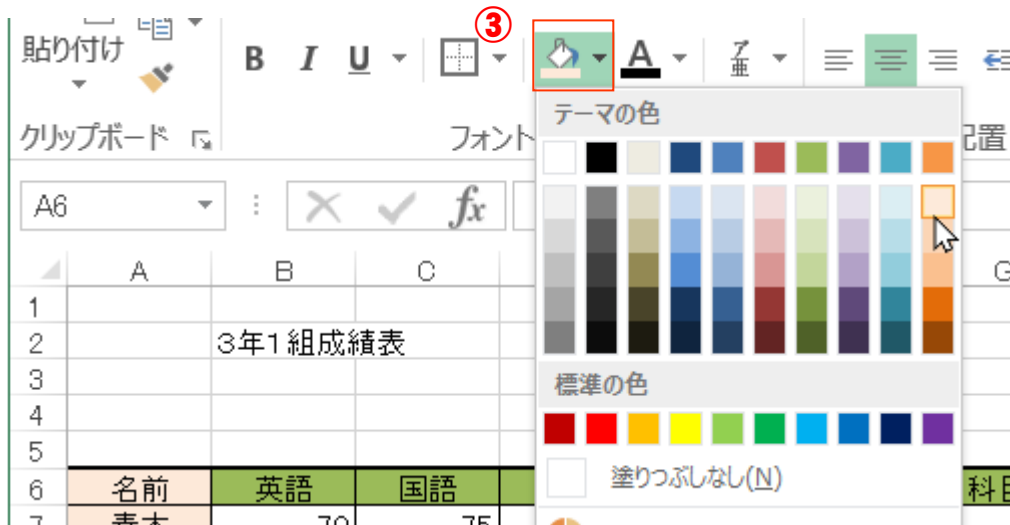


- ① 目的のセルを選択します
- ② 文字のセル内の位置を指定します



- ③ セル内の色（セルの背景色）を指定します



計算式を入れましょう

- ① 3科目の合計を求めます
- ② 計算結果を表示したいセルを選択します

ここでは「G7」をクリックします

- ③ 「=」を入力します

「=」は「数式を入力しますよ」という合図です。

- ④ 英語+国語+数学が計算式なので、英語の点数を入力するセルをマウスで指定します、次に計算式の+を入力します、そして国語のセルと数学のセルを加算していきます最後にエンターを押します

以下の様にセル「G7」に数式が入ります

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2		3年1組成績表						
3								
4								
5								
6	名前	英語	国語	数学	理科	社会	3科目計	合計
7	青木	70	75	70	70	65	=B7+C7+D7	
8	井上	65	86	90	65	85		
9	佐藤	80	90	85	80	78		

エクセルの四則演算では、下記のような記号を使います。

足し算	+
引き算	-
掛け算	*
割り算	/

他の人の合計も同様に計算するときは、上のセルの式をコピーすることができます
 コピーしたいセルを選択してフィルハンドルをドラッグします

3科目計	
35	215
35	
70	

→

3科目計	
35	215
35	241
78	255
18	235

絶対番地と相対番地

コピーされた式は自動的に行番号が変更されます

この様にコピーされた場所に対応した式のセル番号に変化するセル番地を相対番地と言います

それに対して、式をコピーしても式の対象となるセル番地が変わらないようにしたものを絶対番地と呼びます

設定は固定する列番号と行番号の頭に\$マークを付けます

数式の中の参照部分を選択し「F4」を入力すると、参照方式を切り替えることができます

B1 という参照を選択した状態を例に説明すると、

F4 を 1 回 : \$B\$1 (絶対参照)

F4 を 2 回 : B\$1 (絶対行参照)

F4 を 3 回 : \$B1 (絶対列参照)

F4 を 4 回 : B1 (元の状態 : 相対参照)

関数

関数とは複雑な計算を行うときに記述する数式や処理を簡単にできるようにした数式の名称です。

数式又、合計するセルの数が増えたときに式の記述が面倒になり、計算ミスも発生します

このようなときに用意されている関数を使用すると便利です

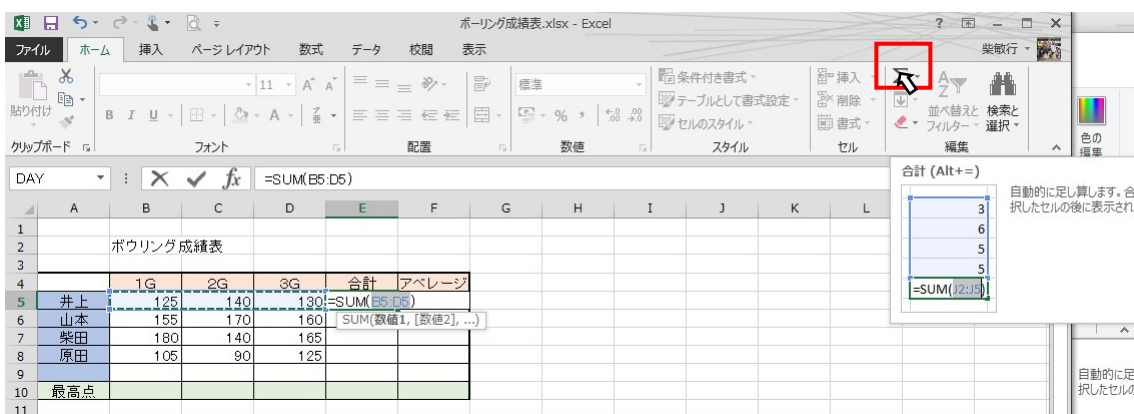
前記の表で1Gから3Gのトータルを計算するときや、参加者のなかで最高点や最低点は何点なのかを簡単に取り出せます


分かりやすいように実際にデータを入力してみましょ

	A	B	C	D	E	F
1						
2		ボウリング成績表				
3						
4		1G	2G	3G	合計	アベレージ
5	井上	125	140	130		
6	山本	155	170	160		
7	柴田	180	140	165		
8	原田	105	90	125		

ここにある表で使用する関数は、合計、平均点、最高点です

- ① まず、計算結果を表示したいセルを選択します
セル「E5」をクリックします
- ② 「編集」グループの「Σ」をクリックします
Σは合計を求める関数です



- ③ セル「E5」に「=SUM(B5:D5)」というように表示されセル「B5」からセル「D5」まで枠で囲われます
- ④ 範囲が正しければ  エンターキーを押します
- ⑤ 合計が表示されます

3					
4		1G	2G	3G	合計
5	井上	125	140	130	395
6	山本	155	170	160	
7	柴田	180	140	165	
8	原田	105	90	125	

式のコピー

ほかの参加者も同様に合計を求める式を記述するのですがエクセルには便利な式のコピー機能があります

- ① コピーしたい式の入っているセルを選択します、ここではセル「E5」をクリックします
- ② 選択されたセルには、セルの右下にマークが付きます
このマークにカーソルを合わせると「+」になります

	3G	合計	ア
	130	395	
	160		

- ③ 「+」にカーソルを合わせたまま範囲を指定します

	合計		
130	395		
160			
165			
125			

	合計	ア
130	395	
160	485	
165	485	
125	320	

最高点を求める関数は、MAX。平均点はAVERAGEです。

- ① 最高点を求めるセルを選択します
- ② セル「B10」をクリックします

	A	B	C	D
1				
2		ボウリング成績表		
3				
4		1G	2G	3G
5	井上	125	140	130
6	山本	155	170	160
7	柴田	180	140	165
8	原田	105	90	125
9				
10	最高点			
11				



「Σ」の横の下矢印をクリックします

- Σ 合計(S)
- 平均(A)
- 数値の個数(C)
- 最大値(M)
- 最小値(m)
- その他の関数(E)...

- ③ 「最大値」をクリックします

- ④ セルに「=MAX(B5:B9)」と入力され、SUM 同様に範囲の枠が表示されます。良ければエンターで確定します

	1G	2G
井上	125	140
山本	155	170
柴田	180	140
原田	105	90
最高点	=MAX(B5:B9)	

MAX(数値1, [数値2], ...)

先ほどと同じように、この式を横にもコピーしてみましょう
 できればアベレージの計算も行ってください
 よく使う、または知っておくと便利な関数として

SUM	数値の合計を求める
AVERAGE	数値の平均を求める
MAX	数値の最大値を求める
MIN	数値の最小値を求める
ROUND	指定した桁数で四捨五入する
COUNT	指定した範囲から数値の入力されているセルの個数を求める
SUMIF	条件を指定して数値を合計する
COUNTIF	条件に合うデータの個数を求める

条件を比較する関数

IF	条件ごとに値を使い分ける
もしセルA1の値が100未満なら10を足す、以上ならそのまま表示する	
=if(a1<100, a1+10, a1)	